

星屑

Feb 2001
No.311



毎年恒例の新年会
山本屋にて 1／3

熊本県民天文台

21世紀の夜明け

みれにあむカウントダウン&新年会報告

by HIGE

この日に消費したお酒の一部

ミレニアムカウントダウン

今年のお正月を天文台で過ごしたのは5人。艶島氏、小林寿郎氏、甲斐氏、中尾富作氏、そして私中島の5人であった。

こうして、今年の天文台ミレニアムカウントダウンはスタートからとほほの様相を呈してきた。しかし、何はともあれビールで乾杯。この日のために中尾氏が1年間近



くも秘蔵しておいたワインをあけることになる。これは、懸賞に応募したら当たってしまったというもので、酸化防止剤を含まないと言うものである。しかも、市販はされていない限定品とか。その後、私が秘蔵しておいた高級ワインを開けるが抜栓して



すぐは飲めないので、しばらく日本酒で時間を稼ぐ。30分以上たってやっと飲み頃になってきたこのワインを飲みあげる。そうこうしているうちに、小林氏は望遠鏡で彗星観測。今年も越年観測である。この情熱には頭が下がる。しかし、うまいワインを飲むときにはきっちりと飲んでいる。や



るべきはやるのである。

いよいよ20世紀の最後の時がきた。行く年来る年の放送が流れる中、最後のカウントダウンが始まる。とうとう21世紀になった。みんなで拍手、そしてシャンパンで乾杯。こうしてミレニアムカウントダウンは終わった。こうして迎えた21世紀最初の夜明けは本当に寒かった。私と中尾氏は早々に天文台を引き上げ、私の自宅に帰り近所の神社に初詣。その後、旧天文台があった藤山の工業団地へと向かう。ここで御来光を拝もうという算段だ。しかし、地平線近くには雲がたれ込め、なかなか初日の出は見えない。とうとう8時近くになってやっと雲の切れ間から光が見えてきた。そこで、写真を撮って家に帰り雑煮を食べて、この一連の行事は終わりを告げた。



初日の出



新年会

毎年恒例となった新年会。今年も熊本市内の山本屋蕎麦店2階の広間で行われた。この新年会、呼びかけを星屑だけで行ったせいもあって申し込みの出足が悪くかなり焦った。今年は中止しようかと本気で考えたほどである。しかし、最終的には16名の参加となった。



最初に艶島台長の挨拶。21世紀を迎えての天文台の新たな発展について、格調高い挨拶であった。その後乾杯となり、以後歓談。



今年の新年会では、八代の永原氏や今年結婚するという上塚氏なども参加。久しぶりの再会に話が弾む。特に影山氏は新築の自宅に完成した天文台での観測について話

され、大いに興味がわいた。光学観測はもとより、流星の電波観測でも活躍中で、今後の活躍が期待される。

また、それぞれの会員の近況報告も行われ、宮本氏のお元気な姿やパソコンを駆使したビデオ編集の様子など衰えない意欲に感嘆させられることしきりであった。



こうして、盛り上がった新年会、いつものように記念撮影をしてお開きになった。その後、残った料理を持ち帰る時にこの事件が起った。新年早々初粗相ということで、今年の新年会は終わった。



折り詰めをひっくり返して…

初めて 鹿児島で開催された・・・ 今年の話題は・・・

天文教育普及研究会 九州地区集会 報告

20m電波望遠鏡が、間もなく姿を現します、現地を見学しました



九州支部集会とは

昨年の12月16日（土）、鹿児島大学を会場に、天文教育普及研究会の九州地区集会が開催されました。

この会は、6年前から、天文教育関係者を中心に、アマチュアや公開天文施設を加えた幅広い集まりとして、形を変えて開催されています。天文教育普及研究会が全国で行っている活動の中でも、九州のこんな取り組みは大変ユニークなものです。門戸を広げたおかげで参加者も多く、各方面的活発な発表もあり、天文教育や普及について意見を発表したり情報を交換して交流できる、貴重な場を提供しています。

今年の話題

最初に、百武さんの記念講演があり、氏は勤務する公開天文台の運営について、率直に問題提起をしてあられました。それを聞きながら、お金を持たない代わりにアイデアさえあれば何にでも自由に取り組める「私たちの天文台」のユニークさを改めて感じました。

鹿児島市で高校教員をしている前田氏は、「県民大学」で天文講座を企画し実施したことについて報告されました。望遠鏡制作キットを使った工作に始まり、座学と観望会を組み合わせた講座は、幅広い世代に人気があったそうです。星空や宇宙に興味を持っている人はたくさんいるわけで、しっかり学習できる機会をうまく提供できるかが問題だと言えますね。



宴会の写真が先に出てしましましたが、真ん中に写っている長崎県の松本氏の発表内容に、私は大変興味を覚えました。県の環境アドバイザーとして活動しているという

ことでした。天文愛好家で地質関係の仕事をしていることを生かし、地球ができた頃からの大気の変遷を説明しながら、地球温暖

化防止の大切さを訴える手法は見事です。私たちも、「星空の見える町づくり」の中に是非取り入れていきたいものだと思います。



組立中の電波望遠鏡 3月には完成の予定だそうです 中央は大型 160t クレーン

電波望遠鏡と光学望遠鏡

次の日は入来町に建設中の電波望遠鏡を見学に行きました。VERA計画といって、口径20mの電波望遠鏡を日本各地に建設し、これらを組み合わせた観測で、超巨大なパラボラの役割をさせ、分解能の高い観測をしようというものです。2001年3月には完成引き渡しになるということで、活躍が期待されます。

私たちは、組立途中のパラボラを、巨大な架台の上に登って眺め、皆で記念撮影しました。

霧のため辺りは真っ白でした



支柱の高さがよくわかるでしょう？

隣接地に、口径1mの光学望遠鏡も建設が決まっていて、建設は間もなく始まるらしく、観測装置についてアイデアや意見を求めていましたということでした。現地までは高速経由で2時間半、運営ボランティアとして協力すれば、望遠鏡タイムを確保できるかも。「パワフルなアマチュアを歓迎します」と面高教授があっしゃっていました。1m鏡とはなんとうらやましい、遊びに行きたいな!

星の停車場（2） うさぎ座

土山由紀子

「名も無き星たち」という言葉がありますが、名前が付いている星が意外に多いことをご存知でしょうか？　【星の停車場】では、そんな星々一つ一つに降り立って由来を訪ねてみたいと思います。

冬の王者オリオンの足下に輝くうさぎ座は3等星や4等星ばかりで構成される星座ですが、南の開けた暗い場所では意外に目立つ存在です。星を丹念に繋いでいくと、まるでオリオンに追いつめられた獲物そのものといったウサギの姿が鮮やかに浮かび上がり、この星座が、トレマイオス以前より親しまれてきた古い星座であることに、思わずうなづかされてしまいます。

うさぎ座には神話もなく、オリオンが最も好んだ獲物が天上でも足下に据えられたと言われますが、 α ・ β ・ γ ・ δ の4星で作る台形が目につくためか、アラビアではオリオンの台座やラクダの姿などに見られていましたし、エジプトでは聖なる父にして冥界の大神でもあるオシリス神の船に見られていました。



うさぎ座の星たちは、この4星を中心に名を与えられています。

α 星は台形の中で最も明るい2.6等。うす黄と灰色の対比が美しい二重星としても知られるこの星は、“アルネブ”または“アルシュ”という名を持つ超巨星です。アルネブは、ウサギを意味するアラビア語《アル・アルナブ》が語源。小星座の α 星には星座の名前がついているものが多く、アルネブもその一つです。

一方アルシュという名は、 α ・ β ・ γ ・ δ の4星に与えられた《アル・アルシ・アル・ジャウザ（巨人の玉座）》というアラビア名が語源。4星をオリオンが座る玉座に見立てたもので、一番明るい α 星が

代表としてこの名で呼ばれたのでしょう。

アラビアには4星がオリオンの足下に位置することと関連づけた名前が他にもあり、《アル・クルシイ・アル・ジャバル（オリオンの足台）》という呼び方も知られています。

うさぎ座をオリオンと共に眺めると、獲物になつたり台座になつたり、確かにいろんな見方ができるような気がしてきますね。

2.8等のβ星は4星の中で2番目に明るく、“ニハル”という名を持っています。

ニハルの語源はアラビア語の《アル・ニハル》で、喉が乾いたラクダ、という意味です。この名も4星全体につけられた名前でしたが、α星にはすでに固有名がついていたためβ星の名として定着したものでしょう。

うさぎ座は、冬の大三角の中を流れる天の川から少し離れた所に位置します。このため、4星は水を飲むために天の川へ向かうラクダとして描かれ、喉が乾いたラクダ=アル・ニハルと呼ばれていたのです。

以上で4星の話はお仕舞いですが、うさぎ座にはもう一つ、特別な称号を持つ星があります。一般には“ハインドのクリムソン星（深紅色星）”として知られる長周期（ミラ型）変光星Rです。

うさぎ座RがJ.R.ハインドによって初めて観測されたのは、1845年10月。この星は、そのくすんだ赤色に魅せられた多くの人々によって、“深紅色の宝石”“光る石炭”“光に照らされた血のしたたり”などと表現されてきましたが、最初の観測者ハインドの「最も強烈な深紅色で、背景の空に付着した血滴のようだ」という言葉にちなんで“ハインドのクリムソン星”として知られるようになりました。

うさぎ座Rの変光は、427日周期で5.5等～11.7等の範囲。ミラ型変光星の常として、極大付近では表面温度が高くなつて色が少し変化します。「R Lep のワインレッドの前では、アンタレスやベテルギウスでさえも単なる淡い色合い」と述べたアグネス・クラークは、続けて「増光時には色合いが薄くなり、極大付近では、その強烈な赤さは銅色になつてしまふ」とも述べています。うさぎ座Rの赤を楽しまきたかったら、表面温度が低い極小期を狙つた方がよさそうです。前回の極大は2000年5月頃でしたから、この冬のうさぎ座Rは暗く、存分に有名なワインレッドを楽しめることでしょう。

41P/Tuttle-Giacobini-Kresak Dec. 26, 2000

ユメノト・ページ

ポリコ・ニッセ

Happy New Millenium !!

12月はお天気が良く、久々に大漁でした。

新彗星あり、明るい彗星もあり…と彗星観測者には
楽しい…うん? 大変なところかな… 一月でした。

夕空では、宇都宮ージョーンズ彗星が見え、夜半
にはLINEAR等の新彗星、明け方には明るくなった3
彗星と休むヒマでした。

今年も彗星と楽しめる年でありますように…。 1'

73P/Schwassmann-Wachmann 3 Dec. 26, 2000

41P/Tuttle-Giacobini-Kresak

過去何度もバーストを起こした話題の星です。今回
帰期も幾度か増光し写すたびに姿の変化しています。

73P/Schwassmann-Wachmann 3

前回の分裂で生じた核が観測され

47P/Ashbrook-Jackson Dec. 29, 2000

ました。A~Eまでありました。

47P/Ashbrook-Jackson

夕空に扇形の尾を見せています。

C/2000 W1 (Utsunomiya-Jones)

夕空に細い尾を見せてくれました。

C/1999 WJ7 (korlrvic)

細い尾が印象的な姿です。 1'

C/2000 W1 (Utsunomiya-Jones) Dec. 14, 2000

C/1999 WJ7 Dec. 27, 2000

C/1999 T1 (McNaught-Hartley)

12月、近日点を通過しました。面白い姿ですね。

C/2000 Y2

新彗星です。

C/2000 WM1 (LINEAR)

来年(2002年)明るくなるかと期待される新彗星ですが、標準等級7等といわば普通の星です。

C/2000 Y2

C/1999 T1 (McNaught-Hartley) Dec. 31, 2000

C/2000 WM1(LINEAR) Dec. 29, 2000

C/2000 Y3 (Scotti)

SPACEWACTH望遠鏡による新彗星です。発見時ちょうど衝の位置で高度も十分でしたが、小さく微光星の多い空域で41cmでもこの写りですから91cmではどんな写りなのか…ぞっとしますね。

この星が、21世紀へのカウント・ダウン中の観測となりました。世界時ではまだ20世紀なのがね…。

P/2000-Y3 (Scotti) Dec. 31, 2000

12月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 12日/12日=100% 一般来台者数79名 会員来台57名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日(金)	はれ	0	中尾トミサク、小林J、立川、山田、松本	金星、月、木星、土星、観る。 OR 18mm でよく見えるが、ナグラー8mm ではボテボテに見える。 中尾氏の宮内 6cmx20 の双眼鏡を見せてもらう。すばらしい。(立川)
2日(土)	くもり 時々晴	24名 豊田小の先生達を含む	艶島、松野	月、木星、くものあいまに時々見えた 夕方から急に雲が広がってしまった。 1~2月の「冬の星座」についての授業に向けて天文台を活用しよう ということで豊田小の先生方がおいでになったが、曇ってしまった。 ただ、大勢のお客さんでにぎわっていて、雲の切れ間にあらわれる木星や 土星に大きな歓声があがり、ちょっとだけ顔を出す星座に気をもみながら 「星空観望」ってこんなに楽しかったのかと認識を新たにしておられました。 (松野) 中島、土山、内藤 天文台のホームページについて打合せ
3日(日)	晴	8人	艶島、高田、木戸さん	月、木星、土星 艶島さんの電子紙しばいが子供にうけていました。(高田) 天文台のホームページについて打ち合わせ
8日(金)	はれ	6人	小林J、西嶋、山田、TOMMY 中尾	土星、木星、月、すばる、トラペジウム、シリウス 町田さんが子供さん2人をつれて来台
9日(土)	くもり	25人 (豊野少年自然の家)	艶島、中島、中尾(の)	電子紙芝居
10日(日)	くもり			天文台おおそうじ&トークアバウト 艶島、中島、小林J、西嶋、中尾の、 土山、内藤、甲斐、小林M、松本、前田、平川、高田
15日(日)	はれ	なし	小林J、中尾、 西嶋、松本、 艶島	こんなにはれなのにだれもこない(中尾と)

宇都宮彗星ほか観測（小林J）				
22日(金)	晴れ	9人2 家族	長谷、小林J、 中尾Tommy、松 本	M42、M35、木星、土星、金星、 カストル、シリウス（長谷）
23日(日)	曇後 晴	3名	中島、松野	金星、木星、土星、M42、スバル（松 野） 艶島 ホームページの件について
24日(水)	曇り のち 時々 晴れ	4名	艶島、高田	土星、木星、シリウス
29日(木)	はれ		中尾 (運営日でない のに)おまちがえ で来たそうです。 新品のデジカメ と双眼鏡をみせ びらかす…	小林J 観測 中島、艶島 樂会 たる酒でし た…！
31日(日)				艶島台長、小林副台長、中島副台長、 甲斐氏、TOMMY メニュー：もつ鍋と、ちーずふおんで いゆ。ワインが4本だった？日本酒1 本 シャンパン1本 紅白を見た後、ゆく年くる年をみて、 かうんとだうん。ぱちぱちの拍手。の ち、みな酔いつぶれる。 中島副台長とTOMMYは初詣へ。 早朝、初日の出撮影。見事成功？（中 尾）



おおそうじ真っ最中。いらないものが、
でるわ、でるわ(^^)

12月
10日 安達さんよりお歳暮（風月堂のおかし）を
いただきました。
おおそうじの後、みんなでおいしくいただ
きました。

あけまして、おめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひ致します。さて、21世紀がやってきました。車が空飛んだり、アトムみたいなロボットが出来たりするのかと（古かった!!）だいぶ昔に思ったのですが、なーんにも変わらない…いや、犬のロボットなどが出でるから、だいぶ近づいているのか？とも考えますが…。変わらないのは私だけ？でした。まあ、こんなんでいいんでしうね。

☆ 2月の天文現象＆行事 ☆

- 1日（木） 上弦（23：02）
- 3日（土） 節分
- 4日（日） 立春（りっしゅん… 春の始まり。前日の節分は厄払い）
- 5日（月） おうし座♂星の星食（01：15）
- 8日（木） 満月（16：12） 月の距離が最近（356851km）本年最近
- 9日（金） 土星が東矩（0.1等 視直径18.4") 変光星天秤座RSが極大
- 10日（土） 天王星が合（5.9等 視直径3.3") トーケアバウト（20：00～）
- 14日（水） 火星が西矩（0.8等 視直径6.9")
- 15日（木） 下弦（12：24）
- 16日（金） 木星が東矩（-2.4等 視直径40.2")
- 18日（日） 雨水（うすい…冬の雪や氷が陽気に溶け天に昇り、雨水となり下るの意味）
- 22日（木） 金星が最大光度（-4.6等 視直径38.9")
- 23日（金） 新月（17：21）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2001年2月号 通巻311号

発行所 熊本県民天文台事務局 TEL 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>